

炎症とアレルギーの関係について (特に、口腔内の炎症とアレルギー)

免疫反応とは？

免疫反応＝自己以外の体内への侵入による
悪影響を除外する体の反応

免疫反応

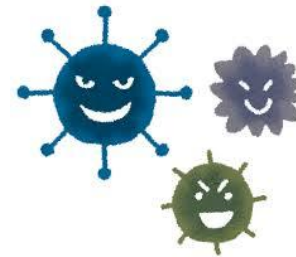
自分自身



VS

自分以外

(細菌、花粉、異物など自分以外)



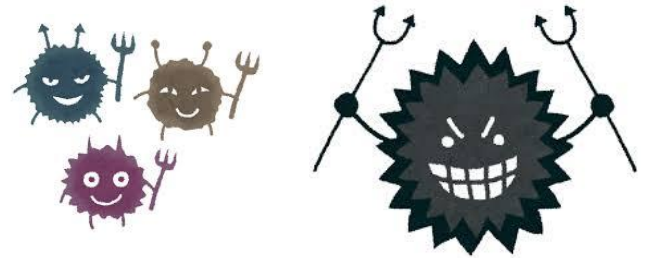
炎症とは？

炎症

自分自身

VS

細菌



膿

(細菌の死骸や戦いの名残)

アレルギーとは？

アレルギー＝『異常な』免疫反応

アレルギー

自分自身



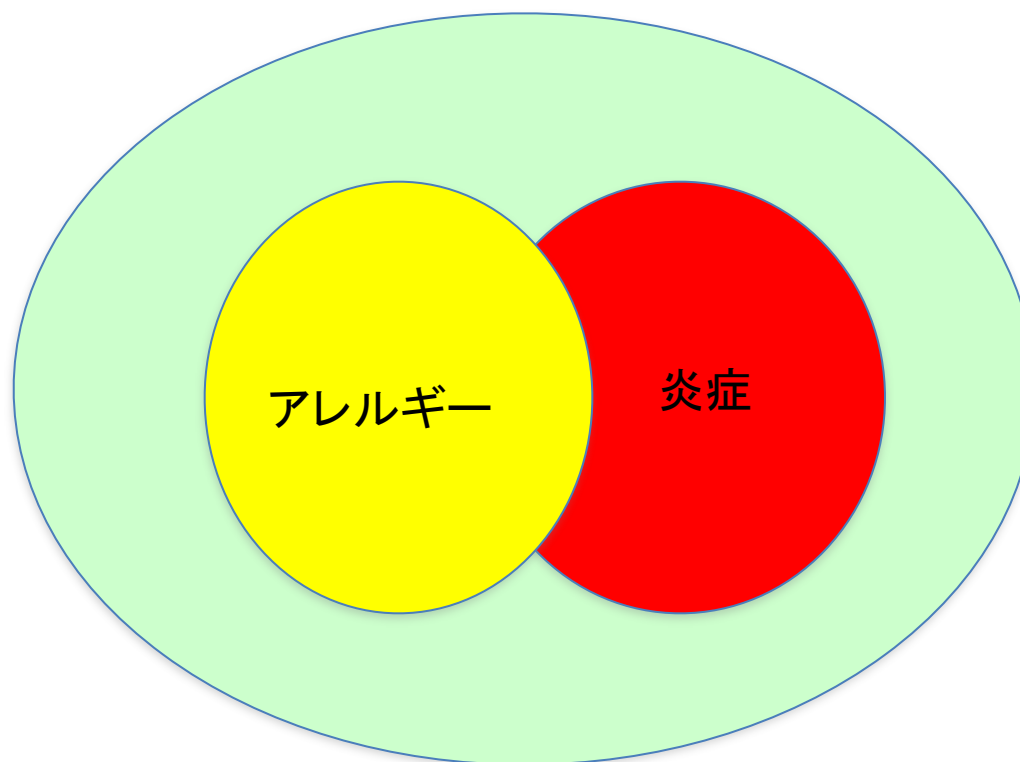
本来なら反応しない
ことが多い侵入者

(自分自身、花粉、ハウスダストなど)



炎症もアレルギーも免疫反応の1つ

免疫反応



炎症もアレルギーも、免疫反応の1種で炎症が存在すると免疫反応全体が促進され、結果としてアレルギーの症状も促進する

炎症がアレルギーを加速させる因子となる！

炎症の存在



免疫反応全体を促進



アレルギーが存在する場合、
アレルギー症状の促進



口腔内及び全身的なアレルギーに関する
症状をさらに増悪させる

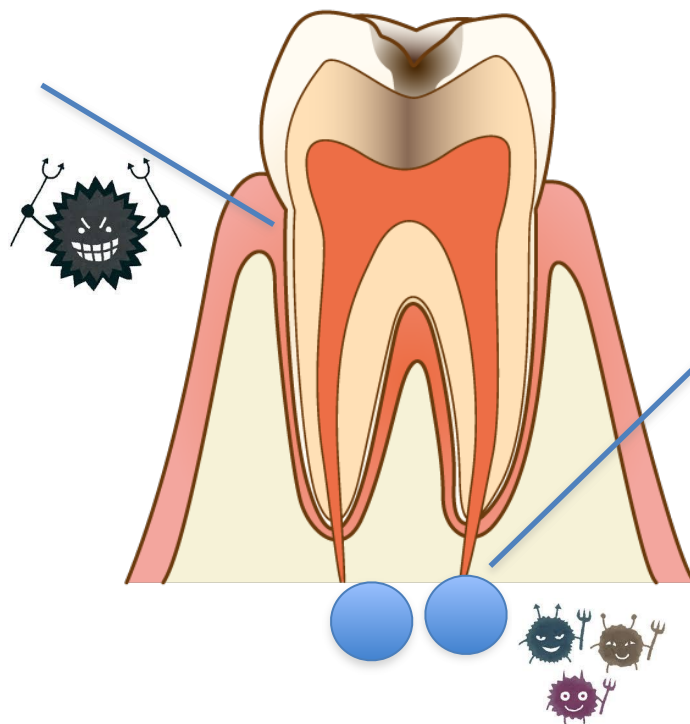


これを逆向きに考えると、炎症を除去することができれば、免疫反応は鎮静し、結果としてアレルギー症状が少なくなるといえる

炎症の除去→アレルギー抑制へ繋がる

口腔内の炎症の除去＝歯周病の治療、根の病気の治療

①歯周病



②根の病気

お口の中の**代表的な炎症である歯周病や根の病気**の治療をすることにより、お口の中の炎症を除去しアレルギー症状の緩和を促すことができる